

発電システム寄贈 島

ソーラーポスト 創業地町会に 福

福島市のソーラーポストは七月三十日、市内山口の中組町会に太陽光発電システム一式四・四誌（約百六十万円相当）を贈った。

同社の創業十八周年 社会貢献事業の一環。創業の地である同市山



尾形社長から目録を受ける寺島会長（右）

可能エネルギー普及につなげようと、贈呈を決めた。今後、経産省への申請を経て、中組集会所の屋根に太陽光パネル二十枚を設置する。九月末から十月には工事を完成させる予定。年間発電換算金額は約十四万円。

贈呈式は同日、市内山口の中組集会所で行われた。尾形芳孝社長が「売電収入で増えた予算を新たな事業に活用し、地域住民の元気につなげてほしい」とあいさつし、中組町の寺島芳一会長に目録を手渡した。